

2011 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” 開催される

平成23年10月1日、駒沢オリンピック公園中央広場（東京都世田谷区）において、「2011 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”」が、日本獣医師会の活動方針である「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」をテーマとして、多数の来場者を得て盛大に開催された。

本行事は、第5回目を迎えるが、動物の診療だけではなく人の健康にも深くかかわる様々な仕事に取り組む獣医師の役割とともに、動物たちが担う社会役割の多様性を広く一般に普及して理解を促進することにより、動物愛護思想の普及・啓発、人と動物が共存して生きる豊かな社会の実現に寄与することを目的に開催する公益目的事業として実施するもので、本会主催、関係省庁・獣医師関係団体等の後援、関連企業等の協賛、関連団体、獣医学系大学の協力のもと、獣医師への理解を深めてもらうよう多数の催し物を企画し、獣医学系大学学生、高校生、動物飼育者等をはじめ、多数の一般市民に来場いただいた。

当日は、開会式で、本会山根会長から、昨年の中東呼吸器感染症の防疫活動、今年の中東呼吸器感染症における動物救護活動をはじめ、獣医師が社会生活の中で果たす職責、役割が増す中、人と動物のより良い関係の構築と獣医師の果たす役割をこの機会にさらに深く理解いただきたい旨挨拶がなされたほか、来賓である、民主党獣医師問題議員連盟幹事長 城島光力衆議院議員、自由民主党獣医師問題議員連盟幹事長 森 英介衆議院議員、公明党動物愛護管理プロジェクトチーム座長 高木美智代衆議院議員及び自由民主党 山田俊男参議院議員から祝辞が述べられた。続いて、来賓、特別協賛者等の紹介、祝電披露の後、放鷹義塾により、開会宣言のメッセージを携えた鷹が客席の後方から、近藤副会長のもとへ飛んで行くという演出が行われた後、近藤副会長から開会が宣言された。同時に、東京都立園芸高等学校の協力によりカウントダウンとともにステージ脇から55羽の鳩が青空へ飛び立った。引き続き、メインステージでは、農場どないすんねん研究会とお茶の水女子大学学生サークル Ochas の協力により、獣医療提供体制整備推進協議会主催の平成23年度 獣医療提供体制整備推進総合対策事業管理獣医師の理解醸成のためのシンポジウム「食の安全を守る管理獣医師」が農場管理獣医師協会 北村直人会長及び同 飯田 潔事務局長を講師に迎えて開催され、午後か

らは、来場された自由民主党 佐藤ゆかり参議院議員によるステージからの挨拶に続き、世界獣医年（獣医学教育設立250周年 Vet 2011）記念企画、東日本大震災「そのとき獣医師は動いた —Diversity of Veterinarians! What did they do in the face of the catastrophe?—」として、滝川クリステルさんをゲストに迎え、被災地で活躍する4名の獣医師（宮城県獣医師会 阿部俊範氏（小動物臨床分野）、福島県獣医師会 渡辺正道氏（産業動物臨床分野）、長谷川 剛氏（公衆衛生分野）、平治 隆氏（水族館展示動物）及び東京で被災動物の救護にあたる獣医師（小林元郎氏（小動物臨床））による東日本大震災の前後でのそれぞれの職域での獣医師の活躍について紹介するトークショーが開催された。

イベントステージでは、犬と飼い主の息の合ったダンスの実演「ドッグダンス」（東京都家庭動物愛護協会）、犬に係るクイズをとおして動物の病気のサインを紹介する「再発見!? 犬学ワンダフルクイズ わかってあげまSHOW!」（動物臨床医学研究所）、全国の獣医学系大学の魅力を学生の視点で紹介するバラエティステージ「あにまる学園祭ステージ企画 ミス・ミスター獣医学生/獣医学生と学ぼう! 動物クイズ」、東日本大震災を受けて、あらためて日頃からの備えとして基本的なしつけやマイクロチップ装着の大切さを見つめなおすステージ「今すぐにごできること—ペットと一緒に大災害を乗り越えるために—」などのプログラムが開催された。

展示コーナーでは、本会担当の「一日獣医師体験コーナー」には、日本獣医学生協会の学生の指導による動物の健康診断に参加しようと、テント前は未来の獣医師たちで溢れ、各大学の「獣医学系大学コーナー」では、大学の担当教員が獣医師を希望する中高校生の相談に親身に応じていた。この他、パネル等を用いた各団体の活動紹介、さらに「各都道府県獣医師会コーナー」では獣医師の畜産物への関わりの解説がなされるとともに、全国の様々な畜産物を賞味しようと来場者が列をなしていた。中でも岩手県獣医師会、宮城県獣医師会、仙台市獣医師会、福島県獣医師会の協力を得て緊急災害時動物救援本部が出品した「東日本大震災パネル写真展示コーナー」では、多くの来場者が熱心に被災地の状況を紹介するパネル展示に見入っていた。アトラクションとしては、子供たちを対象とした「乗馬体験」（日本中央競馬会）、ウサギ、モルモット、ミニブタ等とふれあう、「動

物ふれあいコーナー」(東京都立園芸高等学校), 馬の蹄鉄投げで点数を競う「蹄鉄輪投げゲーム」(日本装蹄師会)では, 子供たちが笑顔で参加し, 警察犬, 災害救助犬の実演が行われた「働く動物たち」(ジャパンケネルクラブ), 「聴導犬のデモンストレーション」(聴導犬普及協会), 馬が音楽に合わせて演技を行う「トリックホースショー」(日本中央競馬会), 等では, 来場者は動物たちの演技や活躍に終始感心していた。

日本獣医師会では, 今後とも, 日本獣医師会・獣医師会活動の指針の理念に基づき, 本行事等を通じた, 広く国民に対する動物との共生の重要性や獣医師の職務等の理解の醸成に努めることとしている。

以下に後援, 協賛いただいた省庁, 自治体, 企業, 団体を改めて紹介するとともに, 多くの企業・団体から温かい支援, 全国55地方獣医師会, 地区獣医師会連合会の出展, 協賛等への協力, さらに一般社団法人日本動物看護職協会及び日本獣医学生協会のボランティアスタッフによる事業運営支援に対して改めてお礼申し上げたい。

2011 動物感謝デー in JAPAN 後援・協賛・協力団体

【後援】

農林水産省, 環境省, 厚生労働省, 文部科学省, 外務省, 観光庁, 内閣府食品安全委員会, 東京都, 世田谷区, 目黒区, 公益社団法人日本動物病院福祉協会, 社団法人日本獣医学会, 一般社団法人日本動物看護職協会, World Veterinary Association, ヒトと動物の関係学会, AIPO (動物ID普及推進会議)

【特別協賛】

共立製薬株式会社, 日本全薬工業株式会社, メリアル・ジャパン株式会社, ロイヤルカナン ジャポン 合同会社, 日本ヒルズ・コルゲート株式会社, アクサ損害保険株式会社, DSファーマアニマルヘルス株式会社, 日清ペットフード株式会社, ノバルティス アニマルヘルス株式会社, 株式会社 ペットオフィス, 株式会社 野村商店

【協賛・協力】

日本中央競馬会, 公益財団法人動物臨床医学研究所, 公益社団法人 Knots, 社団法人 ジャパンケネルクラブ, 社団法人 全国農業共済協会, 社団法人 中央畜産会, 社団法人 東京都家庭動物愛護協会, 社団法人 日本装蹄師会, 一般社団法人 全国ペット協会, 一般社団法人 ペットフード協会, 特定非営利活動法人 聴導犬普及協会, 特定非営利活動法人 日本ペットドッグトレーナーズ協会, 特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会, 農場どないすんねん研究会 (NDK), 狂犬病臨床研究会, 緊急災害時動物救援本部, 全国学校飼育動物研究会, 農場管理獣医師協会, 放鷹義塾, 学校法人 シモゾノ学園/国際動物専門学校・大宮国際動物専門学校, 学校法人 ヤマザキ学園/ヤマザキ学園大学, 東京都立園芸高等学校,

日本獣医学生協会, 北海道大学, 帯広畜産大学, 岩手大学, 東京大学, 東京農工大学, 岐阜大学, 鳥取大学, 山口大学, 宮崎大学, 鹿児島大学, 大阪府立大学, 酪農学園大学, 北里大学, 日本獣医生命科学大学, 日本大学, 麻布大学, アニコム損害保険株式会社, 株式会社 インターズー, AHB インターナショナル株式会社, 奥村印刷株式会社, 環境プラント工業株式会社, 株式会社 共立商会, 株式会社 キリカン洋行, 株式会社 芸文社, 株式会社 サンダンスリゾート, 株式会社 ジェイ・エム・エス, 株式会社 誠文堂新光社, 株式会社 竹尾, デビフペット株式会社, 東京ガス株式会社, 日生研株式会社, パイエル薬品株式会社, パルシステム生活協同組合連合会, 一人本家, 富士フィルムグラフィックシステムズ株式会社, 株式会社 プロマック, 平和会ペットメモリアル, ペッツベスト少額短期保険株式会社, 株式会社 緑書房, 森久保薬品株式会社, 株式会社 安田システムサービス, 株式会社 損害保険ジャパン, らでいっしゅぼーや株式会社, 株式会社 リロバケーションズ

【協力地方獣医師会】

社団法人 北海道獣医師会, 社団法人 青森県獣医師会, 社団法人 岩手県獣医師会, 社団法人 宮城県獣医師会, 社団法人 秋田県獣医師会, 社団法人 山形県獣医師会, 社団法人 福島県獣医師会, 社団法人 仙台市獣医師会, 社団法人 茨城県獣医師会, 社団法人 栃木県獣医師会, 社団法人 群馬県獣医師会, 社団法人 埼玉県獣医師会, 公益社団法人 千葉県獣医師会, 社団法人 神奈川県獣医師会, 社団法人 山梨県獣医師会, 社団法人 横浜市獣医師会, 社団法人 川崎市獣医師会, 社団法人 東京都獣医師会, 公益社団法人 新潟県獣医師会, 社団法人 富山県獣医師会, 社団法人 石川県獣医師会, 社団法人 福井県獣医師会, 社団法人 長野県獣医師会, 社団法人 岐阜県獣医師会, 社団法人 静岡県獣医師会, 社団法人 愛知県獣医師会, 公益社団法人 名古屋市獣医師会, 公益社団法人 三重県獣医師会, 社団法人 滋賀県獣医師会, 社団法人 京都府獣医師会, 社団法人 大阪府獣医師会, 社団法人 兵庫県獣医師会, 社団法人 奈良県獣医師会, 社団法人 和歌山県獣医師会, 社団法人 京都市獣医師会, 公益社団法人 大阪市獣医師会, 公益社団法人 神戸市獣医師会, 社団法人 鳥取県獣医師会, 社団法人 島根県獣医師会, 社団法人 岡山県獣医師会, 社団法人 広島県獣医師会, 社団法人 山口県獣医師会, 社団法人 徳島県獣医師会, 社団法人 香川県獣医師会, 社団法人 愛媛県獣医師会, 社団法人 高知県獣医師会, 社団法人 福岡県獣医師会, 社団法人 佐賀県獣医師会, 社団法人 長崎県獣医師会, 社団法人 熊本県獣医師会, 社団法人 大分県獣医師会, 社団法人 宮崎県獣医師会, 社団法人 鹿児島県獣医師会, 社団法人 沖縄県獣医師会, 社団法人 北九州市獣医師会



図1 開会式で挨拶を行う山根会長



図5 「一日獣医師体験コーナー」で獣医学生からの指導で犬の健康チェックをする児童（日本獣医師会）



図2 放鷹義塾の鷹が運んだメッセージを迎え開会宣言に臨む近藤副会長



図6 「動物ふれあいコーナー」でウサギと触れ合う児童（都立園芸高等学校）



図3 シンポジウム「食の安全を守る管理獣医師」でプレゼンテーションを行う農場どないすんねん研究会とOchasのメンバー



図7 東日本大震災パネル写真展示コーナー（緊急災害時動物救援本部）



図4 世界獣医年記念企画「そのとき獣医師は動いた」では被災地で今もなお困難に立ち向かう獣医師の話に多くの来場者が耳を傾けた



図8 北村顧問による閉会宣言